

1 またきょうも みつけた



- ① 辻友紀子/作
- ② ポプラ社
- ③ 1300円
- ④ E

難病・進行性筋ジストロフィーを患った著者が生きることへの情熱を描いた絵本です。「生きことをあきらめない」という著者の強い思いが、読者へ「自分や周りのいのちを大切にしてほしい」というメッセージになって伝わってくる作品です。

2 おどろきの東京縄文人



- ① 瀧井宏臣/著
- ② 講談社
- ③ 1200円
- ④ 21タ014

東京都心ど真ん中の新宿区のマンション建設工事現場から大量の人骨が発見され、調査の結果、縄文人の骨だとわかりました。その「東京縄文人」はどのような家に暮らし、何を食べ、どんな顔をしていたのでしょうか。プロの力を集結し、太古のロマンに迫る臨場感あふれる一冊です。

3 六千人の命を救え！外交官・杉原千畝

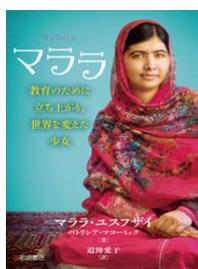


- ① 白石仁章/著
- ② PHP 研究所
- ③ 1400円
- ④ 28ス014

第二次世界大戦中、ヨーロッパではユダヤ人が、命の危険にさらされていました。ポーランドで外交官として働いていた杉原のもとに多くのユダヤ人がビザを求めてやってきます。日本政府から、ビザ発給停止の命を受けているにもかかわらず、ビザを発給した杉原の思いがわかる一冊です。

4 マララ

教育のために立ち上がり、世界を変えた少女



- ① マララ・ユスフザイ/著  
パトリシア・マコーミック/著  
道傳愛子/訳
- ② 岩崎書店
- ③ 1700円
- ④ 28ユ014

2014年、マララは史上最年少でノーベル平和賞を受賞しました。彼女が国連で行ったスピーチの一部です。「ひとりの子ども、ひとりの教師、1本のペン、1冊の本が世界を変えるのです。」マララの思いや、なぜノーベル平和賞を受賞するに至ったのかが分かる一冊です。

5 思い出をレスキューせよ！

“記憶をつなぐ”被災地の紙本・書籍保存修復士



- ① 堀米薫/文
- ② くもん出版
- ③ 1400円
- ④ 36ホ014

「思い出を救うことは、被災した方が、これから生きていくための大きな力になる。」主人公の金野聡子さんは「紙本・書籍保存修復士」として東日本大震災によって汚れた思い出の写真や本などの治療を行っています。「受けついで記憶を未来へ引きつぐ」ことの大切さに気付かされる一冊です。

6 トイレをつくる 未来をつくる



- ① 会田法行/写真・文
- ② ポプラ社
- ③ 1500円
- ④ 49ア014

東ティモールという国では、家にトイレがありませんでした。外で用を足していたことが原因で病気になって命を落とす子どももいました。なぜでしょう。トイレが未来の命へと続く役割を担っていることなど、トイレの大切さがわかる一冊です。

7 町工場のものづくり  
一生きて、働いて、考えるー



- ① 小関智弘/著
- ② 少年写真新聞社
- ③ 1600円
- ④ 50コ014

刺しても痛くない極細の注射針から惑星探査機「はやぶさ」まで、多くの人々に役立つ技術を支えているのは小さな町工場の職人さんたちでした。「ものづくり」とは、「働く」とはどういうことでしょうか。職人さんたちの仕事に対する姿勢から様々なことを学べる一冊です。

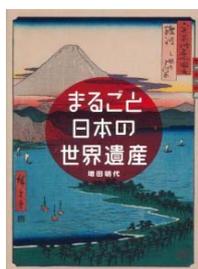
8 捨て犬・未来、命の約束  
和牛牧場をたずねて



- ① 今西乃子/著  
浜田一男/写真
- ② 岩崎書店
- ③ 1300円
- ④ 64イ014

子犬のときに虐待を受け、捨てられた「未来」。学校へ「命の授業」に出かけた時、子どもたちから「犬や猫の命と牛や豚の命に違いはあるの？」と質問を受けます。「生きる」と「命をいただく」の関係を考えさせる一冊です。

9 まるごと日本の世界遺産



- ① 増田明代/著
- ② 講談社
- ③ 1200円
- ④ 70マ014

異なる文化を理解し、平和な世界を築くためにスタートした「世界遺産」。日本にある世界遺産全17件をわかりやすく紹介しています。「世界遺産はどうやって決めているの?」「世界遺産に選ばれる基準ってなに?」そんな疑問にも答えてくれる一冊です。

10 夏休みに、翡翠をさがした



- ① 岡田依世子/作  
岡本順/絵
- ② アリス館
- ③ 1400円
- ④ 91才014

夏休みを迎え、いとこの哲平と転校生の信彦の3人で、地元でとれる宝石（翡翠）を探すことになった小学六年生の玉恵。翡翠探しをするうちに、それぞれお互いの家の事情や悩みなど話せるようになってきます。3人の成長が感じられるひと夏の冒険物語です。

11 いっしょにアムベ!



- ① 高森美由紀/作  
ミロコマチコ/絵
- ② フレーベル館
- ③ 1400円
- ④ 91タ014

学校に友達のいないノボルと東日本大震災で被災し同居することになった同じ年の少年の物語です。ノボルは今を生きることの大切さを少年から学び、心を通わせていきます。人は互いに必要とし、必要とされて生きているんだ、と気付かされる作品です。

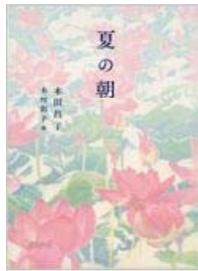
12 ハングリーゴーストとぼくらの夏



- ① 長江優子/著  
山田博之/画
- ② 講談社
- ③ 1300円
- ④ 91ナ014

朝芽（はじめ）は、シンガポールの日本人学校に通う小学生です。ある日、1945年に生きていた「ゴースト」に出会います。不思議な体験をきっかけに、戦争という「過去」を知ることの大切さに気付いていく朝芽の成長物語です。

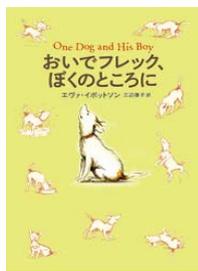
13 夏の朝



- ① 本田昌子/著  
木村彩子/画
- ② 福音館書店
- ③ 1700円
- ④ 91ホ014

祖父の一周忌に出席するため、母の生まれ故郷を訪れた主人公莉子の不思議な体験が描かれています。庭の蓮の花が開くとき、時を越え、莉子は過去の世界へ旅をします。台所の床下にあった味噌つぼの蓮の種が過去と現在の橋渡しをしているかのように…。とても優しい気持ちになれる物語です。

14 おいでフレック、ぼくのところに



- ① エヴァ・イボットソン/著  
三辺律子/訳
- ② 偕成社
- ③ 1600円
- ④ 93イ013

主人公・ハルは念願叶ってついに犬を飼うことができました。しかし、それは週末1回限りのレンタルで、犬のフレックは店に戻されてしまいました。失意のうちにハルが取った行動とは…。

ペットと飼い主のお互いに対する気持ちや信頼関係を描いた冒険物語です。

15 サマセット四姉妹の大冒険



- ① レズリー・M. M. ブルーム/作  
尾高薫/訳  
中島梨絵/絵
- ② ほるぷ出版
- ③ 1600円
- ④ 93フ014

コーネリアは、読書が好きで引っ込み思案の女の子。ある日、隣に作家のヴァージニアが引っ越してきます。彼女が若い頃に体験した冒険談を聞き、引き込まれていきます。冒険談にワクワクする様子や話を聞くことで生じたコーネリアの心の変化も感じ取ることのできる一冊です。